

Informatica Application Modernizationプラットフォームで アプリケーションの近代化を加速する

メリット

- コーディング不要でプロセスやAPIを実装可能
- 高度な統合機能でAPIを構築
- カスタマイズ不要のコネクタで数百のアプリケーション/データベースと接続。30秒で独自のコネクタも開発可能
- マイクロサービスをベースとしたアーキテクチャで、将来の統合ニーズにも柔軟に対応
- 性能、拡張性、可用性に優れたプラットフォーム（1か月あたり数兆件のトランザクションを処理）でミッションクリティカルなアプリケーションをサポート
- 業界先進の極めて包括的なiPaaSプラットフォームを活用
- CI/CDおよびDevOpsをサポート

レガシーアプリケーションを近代化すべき5つの理由

クラウドは、あらゆるデジタル トランスフォーメーション (DX) を加速させる鍵です。しかし、多くの企業のアプリケーションスタックは、柔軟性に欠け、脆弱で、高い維持費を要するオンプレミスのレガシーシステムで構成されています (Siebel、PeopleSoft、自社開発アプリケーションなど)。ビジネスに必要な俊敏性を得るために、各社はレガシーシステムの近代化 (モダナイズ) を進めており、WorkdayやSalesforceをはじめとするクラウドネイティブなモダンアプリケーションに移行しつつあります。ここで課題になるのが、この移行を迅速に進め、成功させるということです。

業務上重要なアプリケーションやプロセスをサイロ化している環境で稼働させている企業では、デジタル トランスフォーメーションの取り組みが行き詰まるか失敗する可能性があります。必要なのは、すべてのアプリケーションを統合して、業務の運用、プロセス、システム全体を網羅する統合ビューを確立して、絶えず変化する市場のニーズに応え、競争力を維持することです。近代化の目的は、企業が俊敏性を高めて競争優位性を得られるように、かつてないスピードでアプリケーションの統合と接続を行うことです。

アプリケーション近代化にインフォマティカが提供する主な機能

アプリケーションを統合してビジネスプロセスを自動化する、単一のインテリジェントプラットフォーム Informatica® Application Modernizationプラットフォームは、マルチクラウドエコシステムおよびオンプレミス環境で利用できるように構築されています。マイクロサービスをベースとしたアーキテクチャにより、全社規模の統合が可能で、マスターデータマネジメントやデータ品質、データレイクなどの新しい統合パターンに適応していくことができます。企業は、セルフサービス式で探索中心のマーケットプレイスやビジネス相互運用ポータルを介して、クラウドやオンプレミス環境にある数百のアプリケーションとサービスに接続することができます。これらのすべてが単一のプラットフォームで行われ、APIの作成と管理、データセットの処理、イベント処理などを一元管理できます。また、あらゆる統合パターン、ユーザータイプ、エンドポイントをサポートしており、ビジネスプロセスの自動化、トランザクションの促進、さらにリアルタイムのアナリティクスが可能です。さらに、イベントAPIとプロセスAPIをリアルタイムに公開して監視することができ、クラウドおよびオンプレミスのアプリケーションにわたるユーザーワークフローとビジネスプロセスを容易に自動化できます。このプラットフォームでは、顧客ペイロードのサーバーレス実行、商用グレードの信頼性認定、高可用性と事業継続性、高度なセキュリティ (プラットフォーム、ネットワーク、インフラストラクチャ) などの機能も提供します。

コーディング不要のインテリジェントなアプリケーション、プロセス、データ統合

インフォマティカのモジュール式的设计環境では、インテリジェントなアプリケーション統合、データ統合、ビジネスプロセスの自動化、API、ガイドをコーディング不要で実装し、管理できます。数多くのクラウドアプリケーション（Salesforce、Workdayなど）からのリアルタイムのデータやサービスを、オンプレミスのデータソース（Oracle、SAPなど）やAPIベースREST（XMLまたはJSON）、さらにSOAPサービスと接続して連携できるようになりました。統合アーキテクト、データスチュワード、技術的知識のない業務担当者にいたるまで、さまざまなユーザーが統合やAPIの構築、組み合わせ、モニタリング、保守を容易に行えます。

ビジネスAPIとデータAPIをインテリジェントに自動化

インフォマティカのApplication Modernizationプラットフォームは、ビジネスAPIとデータAPIのインテリジェントな自動化を可能にし、企業にかつてない生産性をもたらします。アプリケーションを統合して、自動マッピング機能により、複数のアプリケーション間でリアルタイムにデータを同期することができます。このプラットフォームでは、クラウドとオンプレミスの資産、アプリケーション、データサービスに分散する重要なビジネスプロセスをリアルタイムで進めることができます。こうしたプロセスには割引承認、受注から入金までのプロセス、問い合わせへの対応などが含まれます。また、システムと手動ワークフロー間の複雑なインタラクションも管理できます。さらに、インフォマティカの使いやすいオーケストレーション機能を使用して、データの取り込み、プロパゲーション、ビジネスプロセスを自動化できます。

インテリジェントAPIであらゆるデータにアクセス

ビジネスサービスの監視と、API使用状況の管理と制御をリアルタイムで行えます。APIを呼び出すだけで、あらゆる場所（クラウド、オンプレミス、ファイアウォール内外など）に格納されているさまざまなデータのオーケストレーション、取り込み、同期化、複製、変換、リフトとシフトを、どんなスピードでも（指定のレイテンシまたはリアルタイム）実行できます。また、データ、プロセス、イベントサービスを、アプリケーションやパートナーで使用するAPIとして提供することもできます。APIへのアクセスを管理、調整、監視できます。つまり、セキュアかつ適切な管理環境下で、データをAPIとして作成することができます。インフォマティカのクラウドネイティブなソリューションにより、事業部門間でデータを共有し、ビジネスプロセスをリアルタイムで変革できます。ビジネスAPIとデータAPIをノーコードで有効化するには、プロセスとデータソースをシングルクリックでAPIとして有効化する機能を使います。これにより、さまざまなビジネスイベントへタイムリーに対処できるようになります。

ガバナンスと品質管理の自動化

ビジネスAPIとデータAPIをインテリジェントに自動化することで俊敏性が高まり、かつてない生産性を実現できます。また、クラウドネイティブなデータ品質ツールとレジリエントなデータハブを活用でき、サービスとAPIを構築してチーム全体で再利用することができます。アプリケーションの近代化を始める際は、例えばAPIアクセスやデータプライバシー、信頼できる唯一の情報源の決定など、まずガバナンス、ポリシーコントロール、品質の各機能から開始します。インフォマティカのエンタープライズクラスのガバナンスでは、これらの統制を組織内に分散させ、技術者ではない業務担当者でも特定のポリシー決定を行えるようにします。また、AIを活用した探索、検索、プロファイリングなどの機能により、アプリケーションの近代化に不可欠な、データに対する組織全体の信頼性を確保できます。

インフォマティカのアプリケーション近代化ソリューションの主なメリット

簡索性

インフォマティカのアプリケーション近代化ソリューションは、簡素化した統合によって最短期間で近代化を実現します。

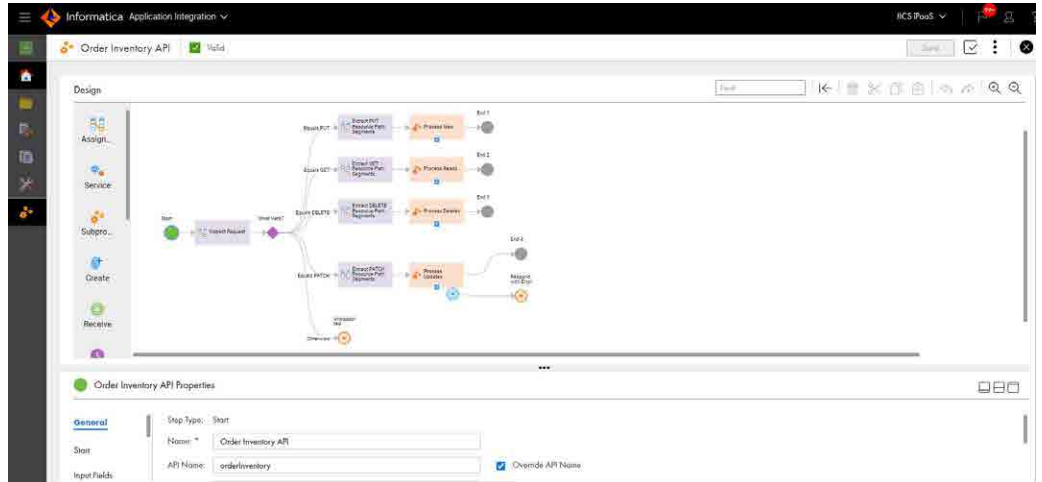


図1. Process Designer

- 単一のプラットフォームを使用した、APIの作成と管理、データセットの処理、イベント処理、プロセスの統合と自動化
- ノーコードのUX。使いやすいドラッグアンドドロップ式的设计環境で幅広いスキルセットに対応
- クラウドネイティブで統合されたバージョン管理、ソフトウェア開発ライフサイクル (SDLC) の自動化、カスタマイズ可能な継続的統合 (CI) と継続的配信 (CD)、ノービルドの実装
- シングルクリックでデータAPIプロバイダーを有効化

生産性

インフォマティカのアプリケーション近代化ソリューションは、ビジネスAPIとデータAPIのインテリジェントな自動化を促進し、かつてない生産性、コラボレーション、ガバナンスを実現します。

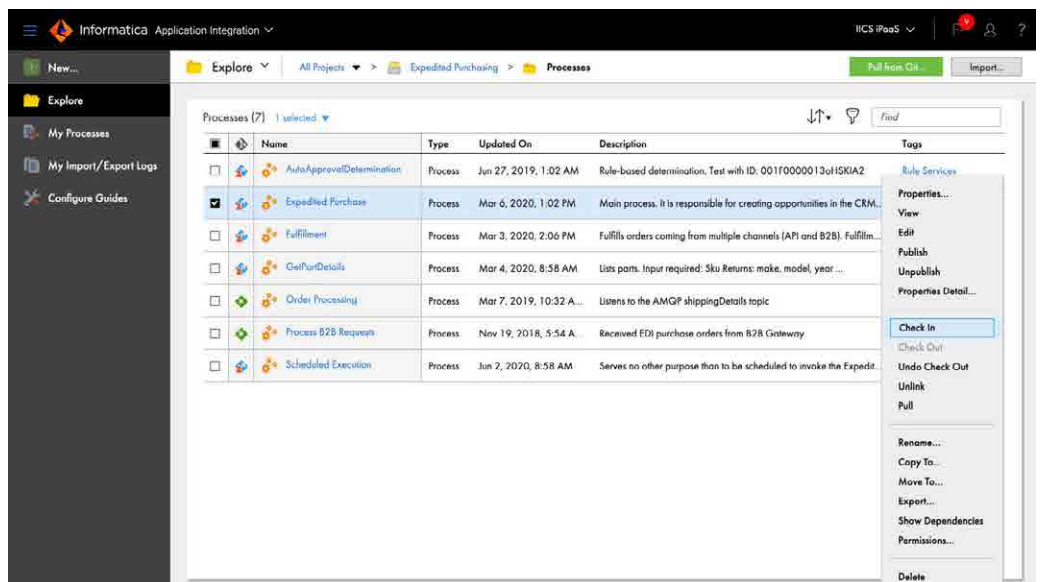


図2. ソースコントロールによる統一された統合環境

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっています。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータマネジメントで世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要なとされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

- インテリジェントな提案を可能にする、メタデータ主導のインテリジェンス。インフォマティカのCLAIRE® AIエンジンで迅速な開発を実現
- データAPIでリアルタイムのデータプロパゲーションとアクセス。プロバイダーと利用者をサポート
- ビジネスAPIで最新の業務運用と柔軟性を実現
- 動的マッピング、マプレット、パラメーター化、サブプロセスによる高い再利用性
- セルフサービスウィザードベースのビルダー、クラウドネイティブのデザイナー、あらかじめ組み込まれたデバッグ機能とテスト機能

拡張性

インフォマティカのプラットフォームは、ビジネスに必要な拡張性とスピードを実現します。

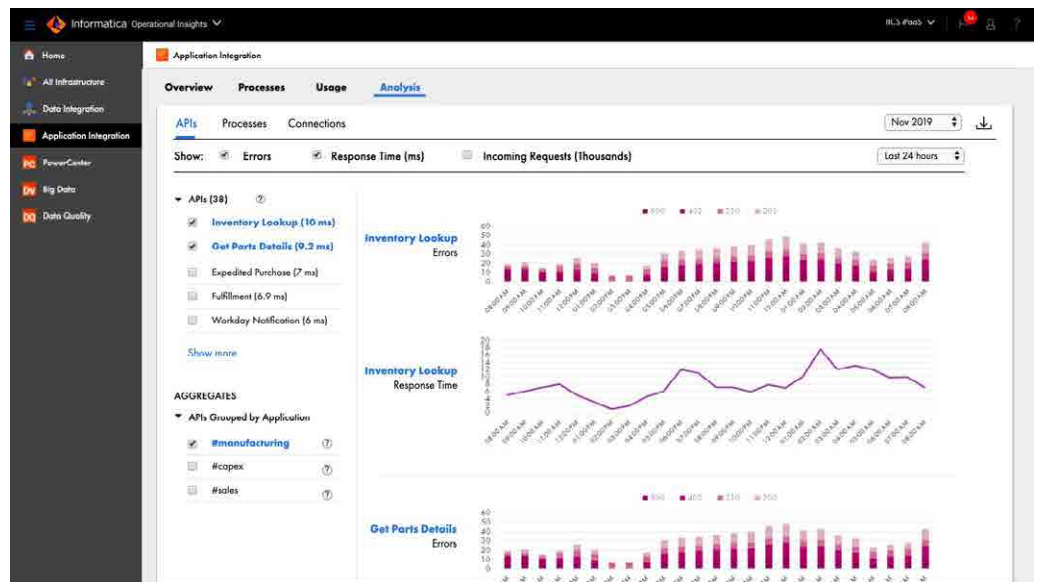


図3. SLAベースのモニタリング

- 15兆件以上のトランザクション（1か月あたり）
- マルチクラウドおよびハイブリッド環境への導入で、必要な場所と方法で拡張可能
- 目的特化型ツールで、開発者や一般の統合担当者など、あらゆるペルソナに対応し、サービスの提供とメンテナンスのスピードを決定
- 運用担当者を中心に据えたモニタリング、ランタイム測定、クラウドとオンプレミスでのAPI保護、異常の検出
- サードパーティのパートナーと、サプライヤーのゲートウェイとポータル

詳細はこちら

Informatica Application Modernizationソリューションの詳細は、www.informatica.com/appmodernization をご覧ください。30日間の無料体験版は、www.informatica.com/app-mod-trial でご登録ください。



〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600(代表) FAX：03-3433-1021

IN17_0221_04074